

「二宮町総合戦略」に係る アンケート調査結果（最終版）

平成 28 年 10 月

1. 調査概要

1) 調査目的

本アンケート調査は、未把握となっていた重要業績評価指標（KPI）の基準値の把握、及び、町の取り組みに対する町民の評価を把握する目的で実施するものである。

2) 調査方法

- 調査票は郵送により配布し、返信用封筒による郵送回収を行う。

3) 調査期間

- 平成 28 年 8 月 24 日（水）～平成 28 年 9 月 5 日（月）

4) 調査対象及び回収状況

- 対象者：1,000 名
平成 28 年 7 月 31 日現在の住民基本台帳から、満 20 歳以上の男女 5 世代（20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上）より、年代ごとの人数を均等に 1,000 名を無作為抽出。
- 回収数：406 票（40.6%）

地域	人数	回収票	回収率
一色	24 名	9 票	37.5%
緑が丘	72 名	35 票	48.6%
百合が丘	131 名	56 票	42.7%
中里	118 名	42 票	35.6%
二宮	286 名	105 票	36.7%
富士見が丘	90 名	44 票	48.9%
松根	16 名	9 票	56.3%
山西	249 名	97 票	39.0%
川匂	14 名	7 票	50.0%
未回答	-	2 票	-
合計	1,000 名	406 票	40.6%

[参考] 町民満足度・転出者・転入者アンケート調査結果（平成 27 年 7 月実施）

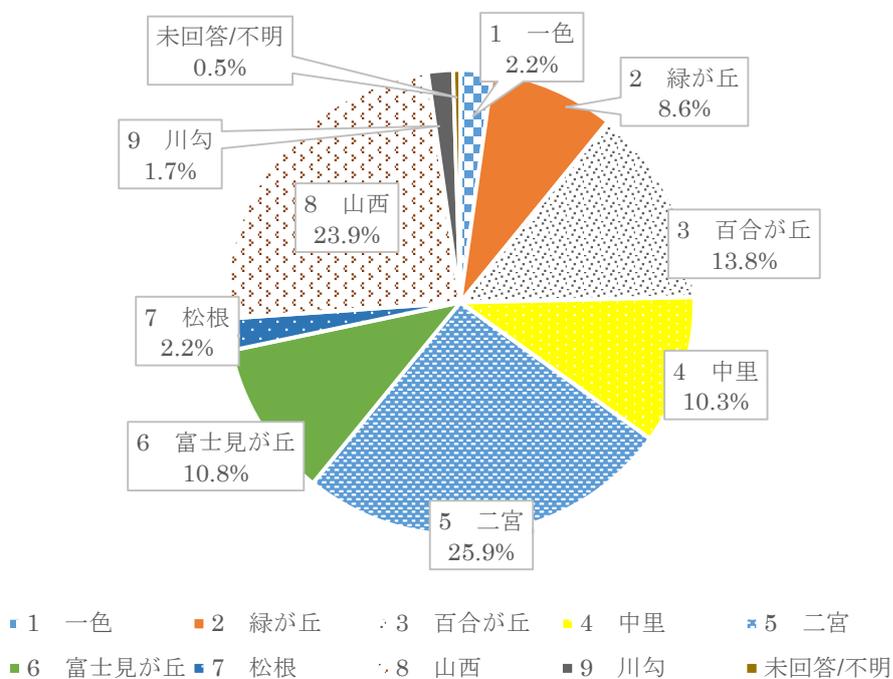
- ・ 町民満足度調査：34.2%（回収数 342 票/対象者 1,000 名）
- ・ 転出者アンケート：23.6%（回収数 189 票/対象者 800 名）
- ・ 転入者アンケート：40.4%（回収数 323 票/対象者 800 名）

- 調査票不到達数：1 名（理由：宛名不明）

2. 調査結果（概要）

問1 住所

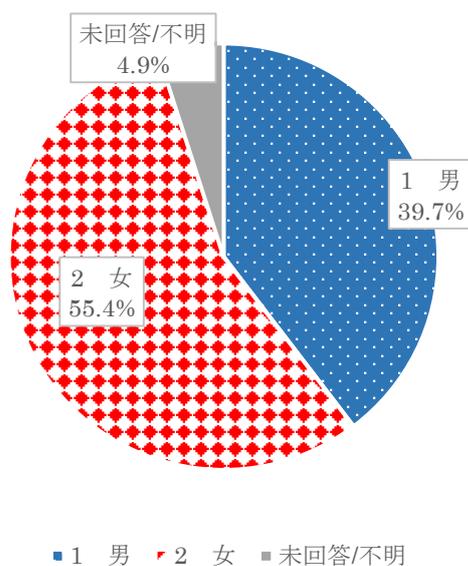
- 回答者の居住地は、調査対象者人数に比例し、二宮が最も多く25.9%、次いで山西の23.9%と続く。



n=406

問2 性別

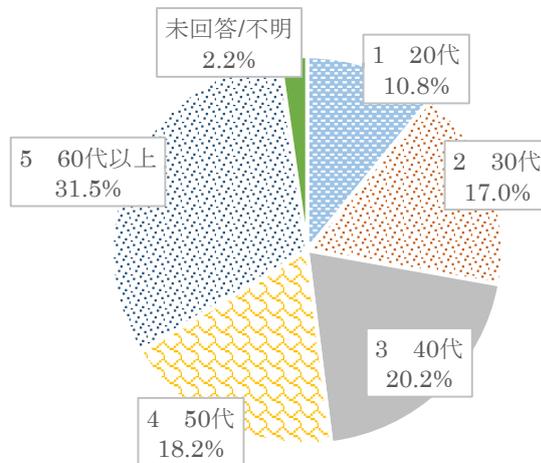
- 回答者の男女比は、女性が55.4%に対し、男性が39.7%であった。



n=406

問3 年齢

- 60代以上が31.5%と最も多かったのに対し、20代が10.8%と最も少なかった。

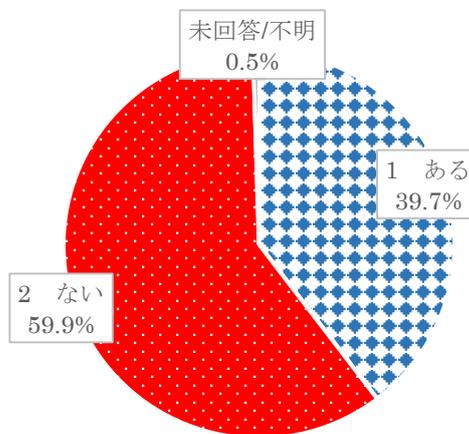


■ 1 20代 ■ 2 30代 ■ 3 40代 ■ 4 50代 ■ 5 60代以上 ■ 未回答/不明

n=406

問4 運動習慣について

- 運動習慣の有無について、運動習慣が「ある」と回答した者が39.7%であったのに対し、「ない」と回答した者が59.9%であった。



■ 1 ある ■ 2 ない ■ 未回答/不明

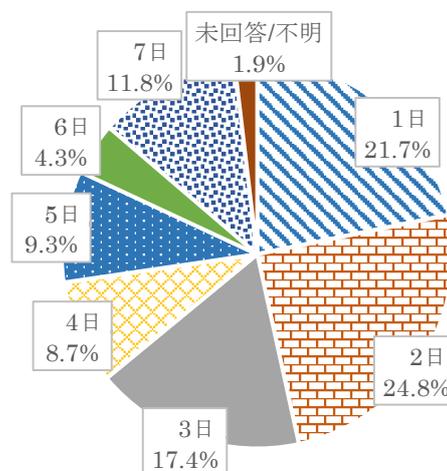
n=406

- 年代別に見ると、運動習慣が「ある」と回答した人の割合が最も高かったのは60代以上で、同年代の全回答者の53.1%を占めた。次いで50代が40.5%で続く。一方、運動習慣が「ない」と最も多く回答したのは、30代で73.9%、次いで20代が70.5%で続いた。

年代 \ 運動習慣	運動習慣が「ある」	運動習慣が「ない」	未回答不明	合計
20代	13 (29.5%)	31 (70.5%)	-	44
30代	18 (26.1%)	51 (73.9%)	-	69
40代	29 (35.4%)	53 (64.6%)	-	82
50代	30 (40.5%)	44 (59.5%)	-	74
60代以上	68 (53.1%)	60 (46.9%)	-	128
未回答不明	3	4	2	9
合計	161	243	2	406

※ ()内の数値は、年代ごとの全回答者に占める割合

- 運動習慣が「ある」と回答した者の1週間の運動日数について、「週2日」が24.8%と最も多く、次いで「週1日」が21.7%であった。



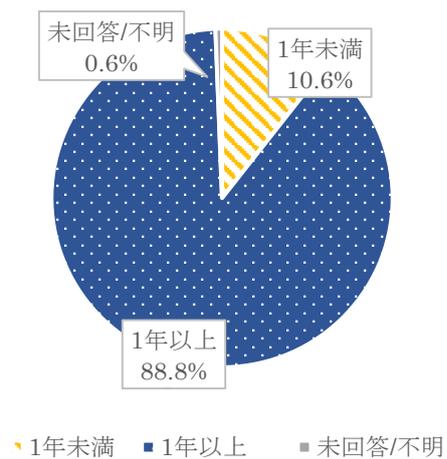
■ 1日 ■ 2日 ■ 3日 ■ 4日 ■ 5日 ■ 6日 ■ 7日 ■ 未回答/不明

n=161

- 運動習慣が「ある」と回答した者の全体の平均運動時間は、1時間31分であった。

運動日数/週	平均運動時間
1 日	1 時間 52 分
2 日	1 時間 40 分
3 日	1 時間 28 分
4 日	1 時間 28 分
5 日	1 時間 18 分
6 日	45 分
7 日	1 時間 06 分
全体平均時間	1 時間 31 分

- 運動習慣が「ある」と回答した者の運動継続年数は、「1年以上」が88.8%、「1年未満」が10.6%であった。



n=161

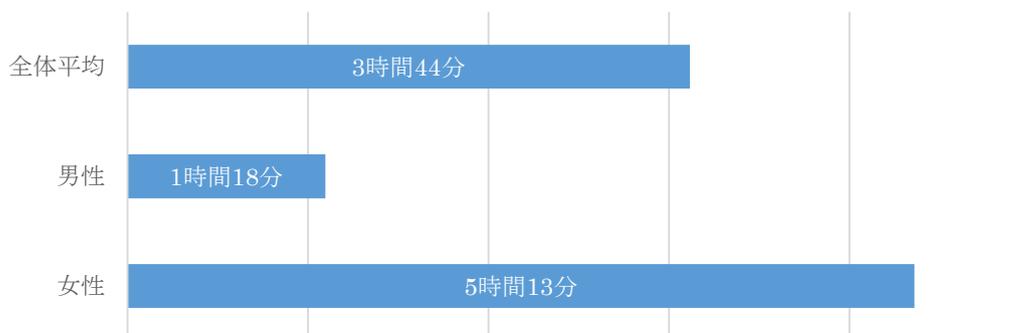
- 運動継続年数が「1年以上」と回答した者の割合は、60代以上が最も多く、同年代の全回答者の半数を占めた。次いで50代が39.2%で続く。20代は「1年以上」と回答した者の割合が15.9%と最も少なかったが、「1年未満」と回答した者の割合は最も高かった。

継続年数	年代	運動日数/週								合計
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	未回答	
1年未満	20代	2	2	1	-	-	-	-	-	5 (11.4%)
	30代	1	-	-	2	-	-	-	-	3 (4.3%)
	40代	2	1	1	-	-	-	-	-	4 (4.9%)
	50代	-	-	-	-	-	1	-	-	1 (1.4%)
	60代以上	1	1	-	1	1	-	-	-	4 (3.1%)
	未回答不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	6	4	2	3	1	1	-	-	17
1年以上	20代	1	1	2	-	1	1	1	-	7 (15.9%)
	30代	4	6	2	1	-	-	1	1	15 (21.7%)
	40代	11	4	1	1	3	-	4	1	25 (30.5%)
	50代	3	13	6	2	2	-	3	-	29 (39.2%)
	60代以上	10	11	14	6	7	5	10	1	64 (50.0%)
	未回答不明	-	1	-	1	1	-	-	-	3
	合計	29	36	25	11	14	6	19	3	143

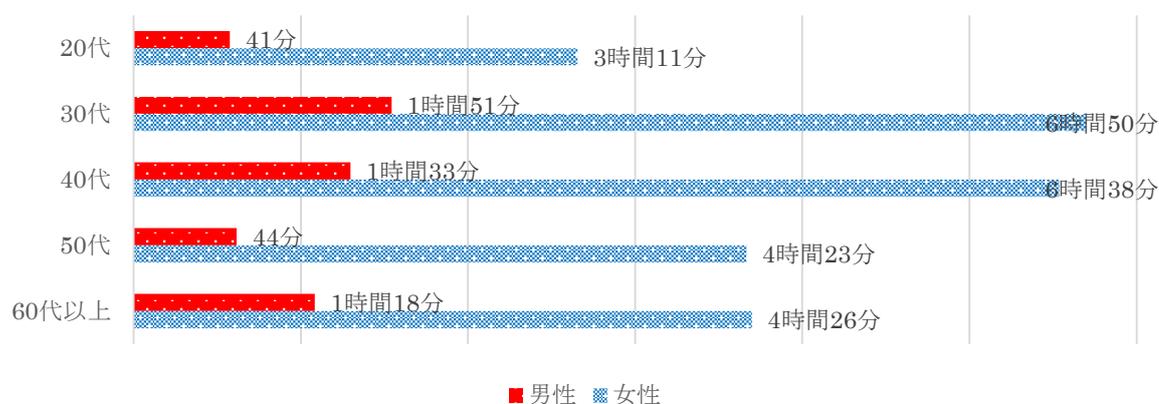
※ ()内の数値は、年代ごとの全回答者に占める割合

問5 子育てと仕事の両立について

- ・ 1日のうち家事や育児にかかる時間の全体平均は、3時間44分であった（回答者の男女比は、男性が39.7%に対し、女性が56.6%）。
- ・ 男女別に見ると、男性の平均時間が1時間18分、女性の平均時間が5時間13分であった。



- ・ 年代別に見ると、30代女性が6時間50分と最も長く、次いで、40代女性の6時間38分と、子育て世代の女性が長いことが分かる。一方、最も時間が短いのは、20代男性の41分、次いで50代男性の44分であった。

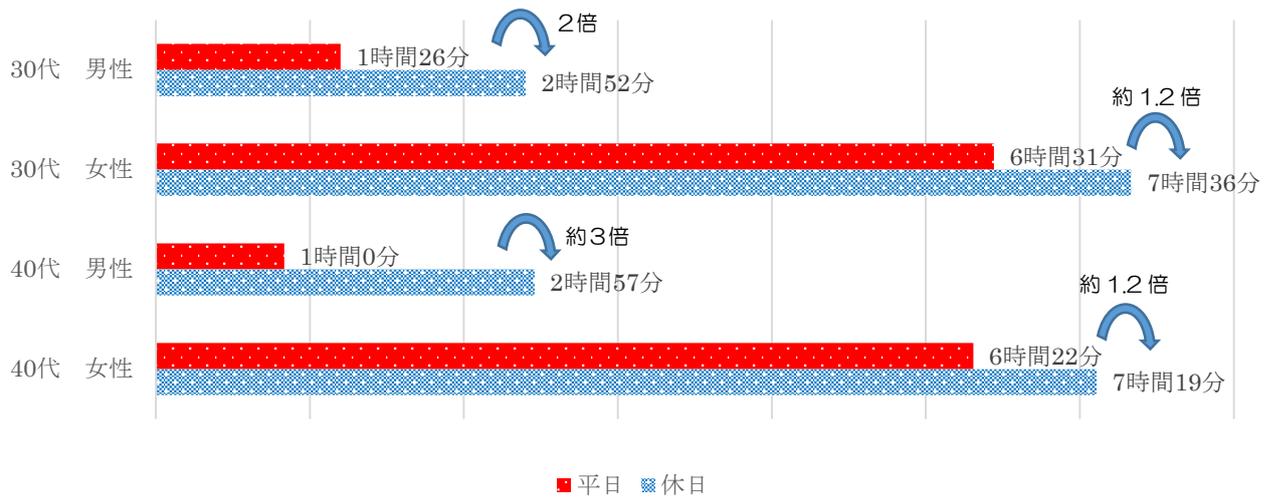


[参 考] 平成 23 年度 総務省「社会生活基本調査」 男女、行動の種類別生活時間/週全体

- ・ 男性の家事関連時間：42 分
- ・ 女性の家事関連時間：3 時間 35 分

※ 家事関連時間の定義：家事、介護・看護、育児及び買い物

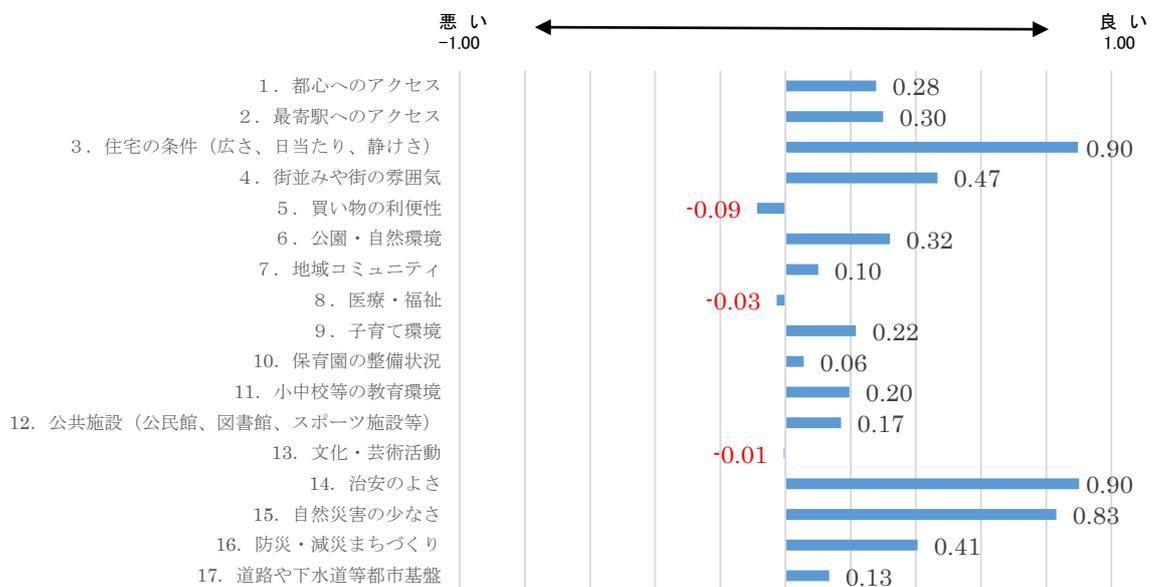
- ・ 子育て世代である30代及び40代を見ると、家事や育児にかかる時間の平均が、平日が3時間49分であるのに対し、休日は5時間11分と、平日より休日のほうが長い。
- ・ 平日については、30代、40代いずれも、女性のほうが男性より5時間以上長い。休日についても、男性が家事や育児にかかる時間が平日に比べて大幅に増えているものの、女性も増えているため、依然として、30代、40代いずれも女性のほうが男性より長い結果となった。



問6 住環境に対する評価について

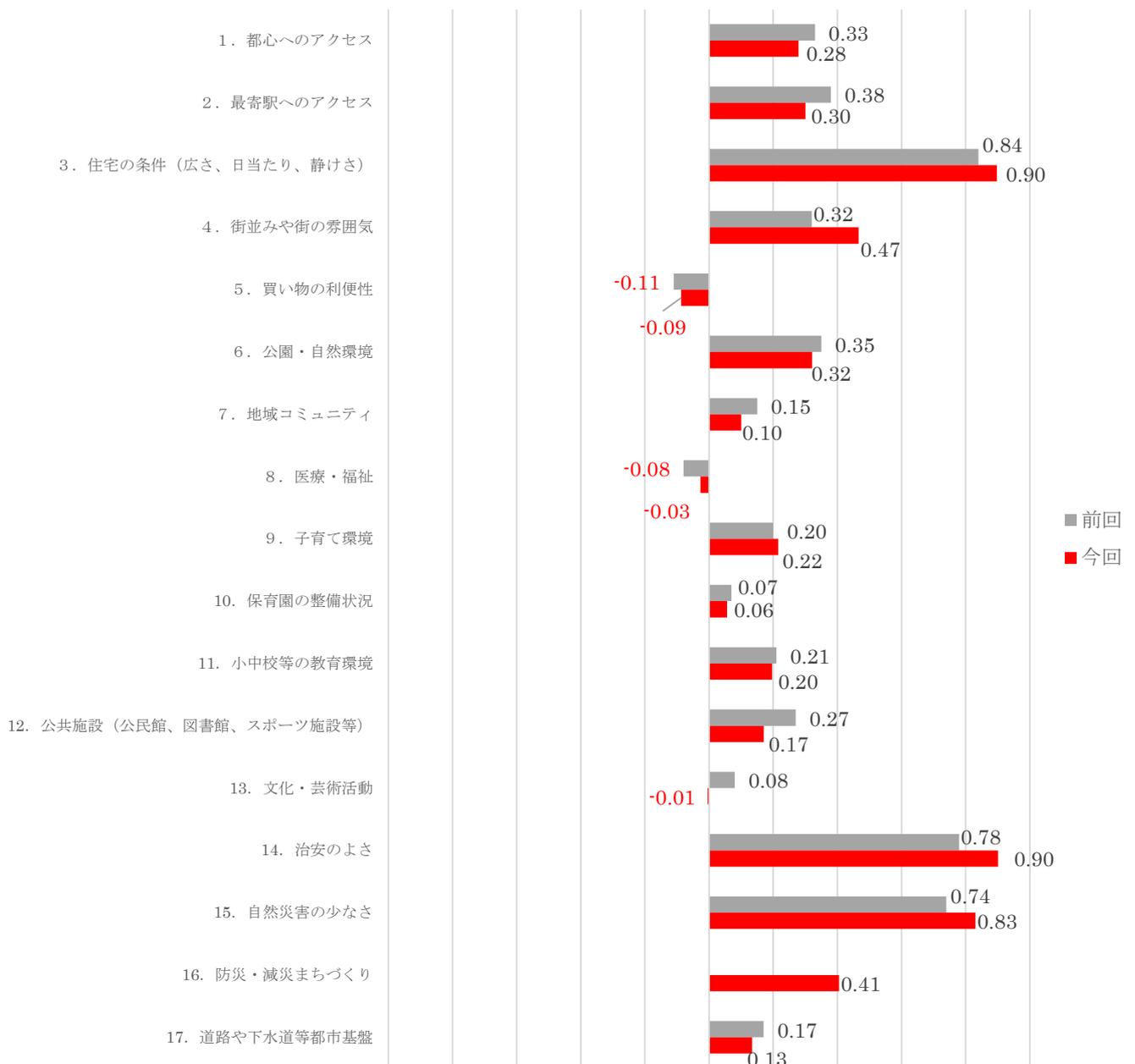
二宮町の住環境について、項目ごとに5段階で評価し、その回答の加重平均を算出した。加重平均を算出する際には、「非常に良い」を2、「やや良い」を1、「どちらとも言えない」を0、「やや悪い」を-1、「非常に悪い」を-2とし、数字が大きくなるほど評価が高く、数字が小さくなるほど、評価が低いことを表している。

- 加重平均が1以上の突出して良い項目はないが、全項目の平均値が0.30と、加重平均の中央にあたる0をやや上回り、全体としては、どの項目も良い評価が得られている。
- 最も評価が高かったものは、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」及び「治安の良さ」（いずれも0.90）、次いで「自然災害の少なさ」（0.83）である。一方、評価が最も低かったものは、「買い物の利便性」（-0.09）、次いで「医療・福祉」（-0.03）、「文化・芸術活動」（-0.01）であった。



- 平成 27 度を実施した「町民満足度・転入者アンケート調査結果」の項目全般の加重平均が 0.29 であったのに対し、本調査では 0.30 であったことから、全体的に評価が向上した（但し、今回は選択肢に「防災・減災まちづくり」の設定はない）。
- 項目別に見ると、最も評価が向上したものは、「街並みや街の雰囲気」（対前回比：0.15 増）、次いで「治安のよさ」（対前回比：0.12 増）であったのに対し、評価が低下したものは、「公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）」（対前回比：0.1 減）、「文化・芸術活動」（対前回比：0.09 減）であった。

<前回の調査結果との比較>



- 年代別に見ると、全項目に対する評価の平均値が最も高かったのは60代以上であったのに対し、最も低かったのは20代であった。20代と60代以上で比較すると、最も評価が分かれた項目は、「道路や下水道等都市基盤」であった。また、「街並みや街の雰囲気」と「治安のよさ」については、60代以上よりも20代のほうが、高い評価となった。
- 20代から50代のすべての世代が、「買い物の利便性」及び「医療・福祉」について、マイナスの評価となった。また、「保育園の整備状況」については、20代及び30代の評価が低い結果となった。

<年代別回答>

	評価				
	20代	30代	40代	50代	60代以上
1 都心へのアクセス	0.21	0.13	0.30	0.32	0.33
2 最寄駅へのアクセス	0.21	0.17	0.35	0.21	0.38
3 住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	0.79	0.91	0.84	1.00	0.90
4 街並みや街の雰囲気	0.52	0.43	0.46	0.41	0.45
5 買い物の利便性	-0.09	-0.20	-0.10	-0.28	0.05
6 公園・自然環境	0.05	0.26	0.17	0.43	0.48
7 地域コミュニティ	0.05	0.00	0.07	0.08	0.19
8 医療・福祉	-0.20	-0.07	-0.15	-0.11	0.15
9 子育て環境	-0.02	0.20	0.23	0.22	0.26
10 保育園の整備状況	-0.02	-0.09	0.14	0.01	0.13
11 小中学校等の教育環境	0.23	0.06	0.18	0.20	0.26
12 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）	0.00	0.22	0.24	0.05	0.21
13 文化・芸術活動	0.02	-0.16	0.01	-0.04	0.06
14 治安のよさ	0.82	0.97	1.01	0.86	0.81
15 自然災害の少なさ	0.60	0.65	0.78	0.84	0.98
16 防災・減災まちづくり	0.09	0.26	0.37	0.35	0.60
17 道路や下水道等都市基盤	-0.16	0.00	-0.01	0.07	0.39
平均値	0.18	0.22	0.29	0.27	0.39

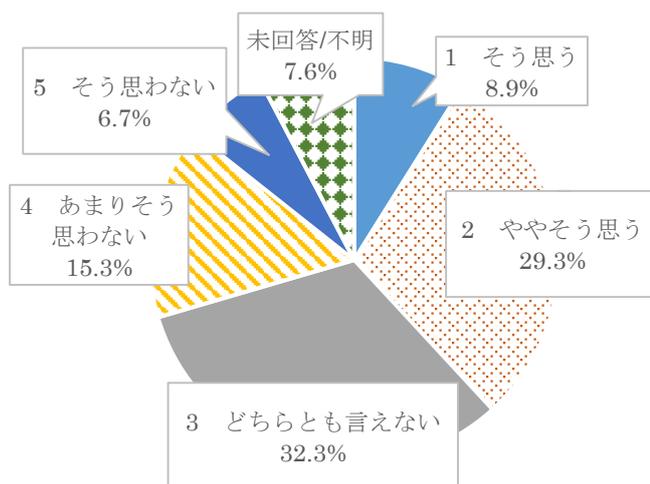
- 全項目のうち、最も評価が低かった「買い物の利便性」に対する評価を地域別に見ると、「良い」（「非常に良い」と「やや良い」の合計）と回答した人の割合が5割を超えた地域は、一色、百合が丘、中里の3地域であった。一方、「悪い」（「やや悪い」と「非常に悪い」の合計）と回答した割合が5割を超えた地域は、二宮、富士見が丘、松根、川勾の4地域であった。

地域	評価						合 計
	非常に 良い	やや良い	どちらとも 言えない	やや悪い	非常に 悪い	未回答 不明	
一 色	1	6	1	-	-	1	9
	7(77.8%)		(11.1%)	-		(11.1%)	-
緑が丘	3	11	10	10	1	-	35
	14(40.0%)		(28.6%)	11(31.4%)		-	-
百合が丘	6	23	12	10	3	2	56
	29(51.8%)		(21.4%)	13(23.2%)		(3.6%)	-
中 里	10	17	8	5	2	-	42
	27(64.3%)		(19.0%)	7(16.7%)		-	-
二 宮	5	24	20	34	21	1	105
	29(27.6%)		(19.0%)	55(52.4%)		(1.0%)	-
富士見が丘	2	5	15	19	3	-	44
	7(15.9%)		(34.1%)	22(50.0%)		-	-
松 根	-	4	-	4	1	-	9
	4(44.4%)		-	5(55.6%)		-	-
山 西	4	16	33	30	13	1	97
	20(20.7%)		(34.0%)	43(44.3%)		(1.0%)	-
川 勾	-	1	2	3	1	-	7
	1(14.3%)		(28.6%)	4(57.1%)		-	-
未回答 不 明	-	1	-	-	-	1	2
合 計	31	108	101	115	45	6	406

※ ()内の数値は、地域ごとの全回答者に占める割合

問7 出産・子育てについて

- 二宮町が、安心して妊娠・出産・子育てできる町であるかという問いに対し、「どちらともいえない」が最も多く、32.3%（対前回比：1.7%減）であった。「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は38.2%（対前回比：6.2%増）である一方、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は22.0%（対前回比：10.0%減）であった。

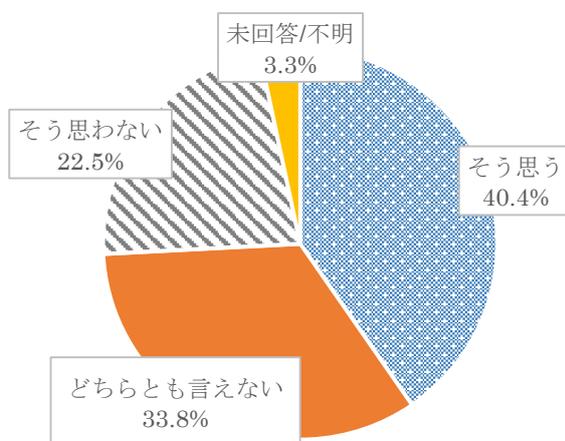


n=406

[参考] 町民満足度・転入者アンケート調査結果（平成27年7月実施）

- 「どちらともいえない」が最も多く、34%
- 「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は32%
- 「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は32%

- 子育て世代である30代及び40代（合計）では、「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は40.4%、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は22.5%となった。



■ そう思う ■ どちらとも言えない ▨ そう思わない ■ 未回答/不明

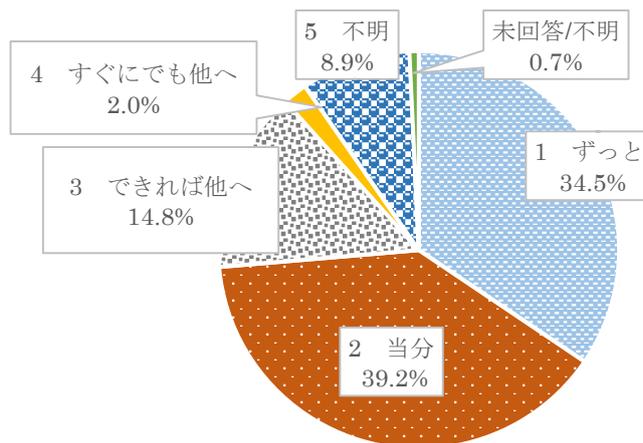
n=69+82=151

<年代別回答>

評価 年代	そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない	未回答 不明	合計
20代	5 11.4%	13 29.5%	16 36.4%	6 13.6%	3 6.8%	1 2.3%	44
30代	4 5.8%	25 36.2%	23 33.3%	8 11.6%	7 10.1%	2 3.0%	69
40代	6 7.3%	26 31.7%	28 34.1%	12 14.6%	7 8.6%	3 3.7%	82
50代	7 9.5%	21 28.4%	29 39.2%	15 20.3%	1 1.4%	1 1.4%	74
60代 以上	11 8.6%	32 25.0%	34 26.6%	21 16.4%	8 6.3%	22 17.1%	128
未回答 不明	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	- -	1 11.1%	2 22.2%	9
合計	36 8.9%	119 29.3%	131 32.3%	62 15.3%	27 6.7%	31 7.6%	406

問8 定住意向について

- ・ これからも二宮町に住み続けたいと思うかという問いに対し、「当分住み続けたい」が最も多く、39.2%であった。「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合算すると、町民の73.7%に定住意向があることが分かる。



n=406

[参 考] 町民満足度・転入者アンケート調査結果（平成 27 年 7 月実施）

- ・ 「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」とする定住意向のある人が7割以上
- ・ 特に町民については、回答の5割以上が「ずっと住み続けたい」と回答

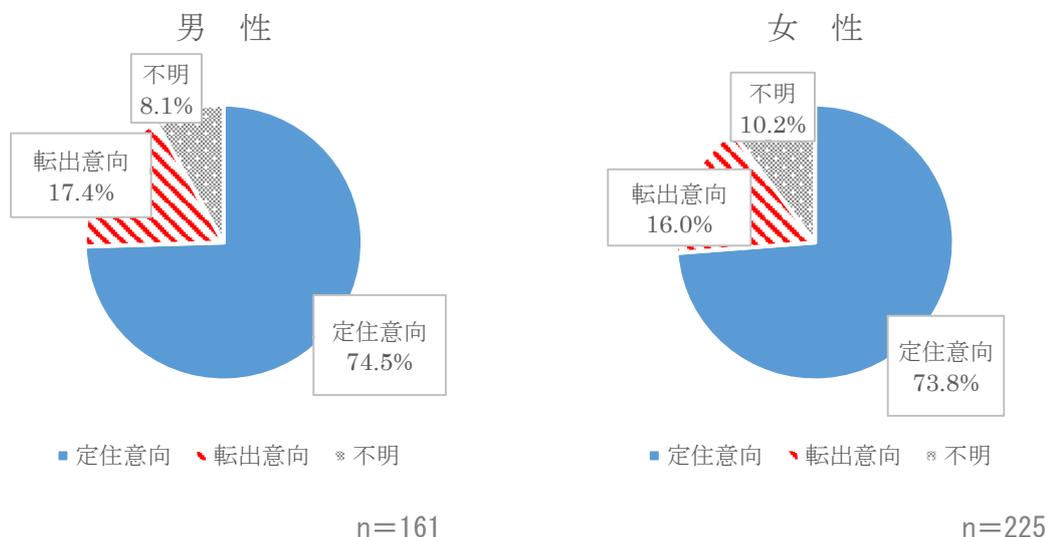
- 年代別に見ると、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合は、60代以上が同年代の全回答者の83.6%と最も多く、次いで50代が77.0%であった。一方、転出意向（「できれば他に移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合算）がある人の割合は、20代が最も高く、同年代の全回答者の36.4%となった。

<年代別回答>

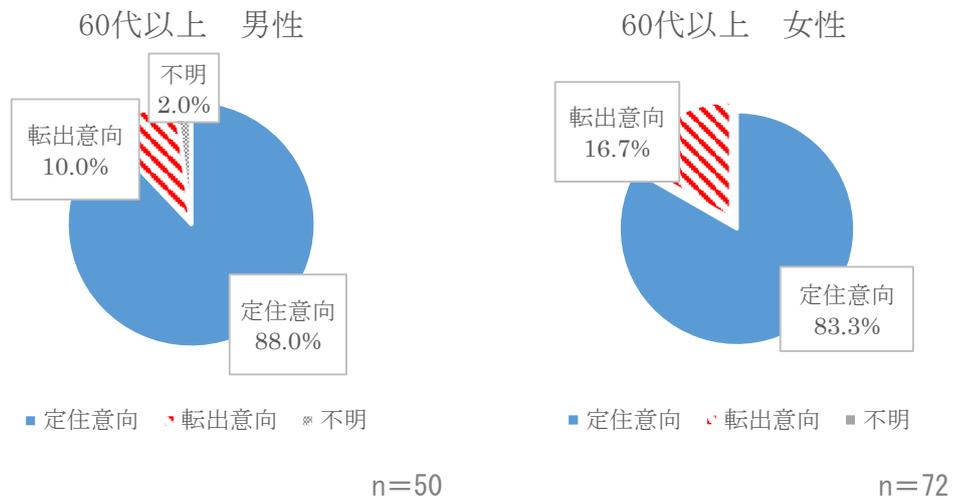
年代	評価		できれば 他へ	すぐにで も他へ	不明	未回答 不明	合 計
	ずっと	当分					
20 代	8	14	14	2	6	-	44
	22 (50.0%)		16 (36.4%)		(13.6%)	-	-
30 代	19	27	12	1	10	-	69
	46 (66.7%)		13 (18.8%)		(14.5%)	-	-
40 代	19	40	12	2	9	-	82
	59 (72.0%)		14 (17.0%)		(11.0%)	-	-
50 代	27	30	4	1	10	2	74
	57 (77.0%)		5 (6.8%)		(13.5%)	(2.7%)	-
60 代以上	64	43	18	2	1	-	128
	107 (83.6%)		20 (15.6%)		(0.8%)	-	-
未回答 不明	3	5	-	-	-	1	9
合 計	140	159	60	8	36	3	406

※ ()内の数値は、年代ごとの全回答者に占める割合

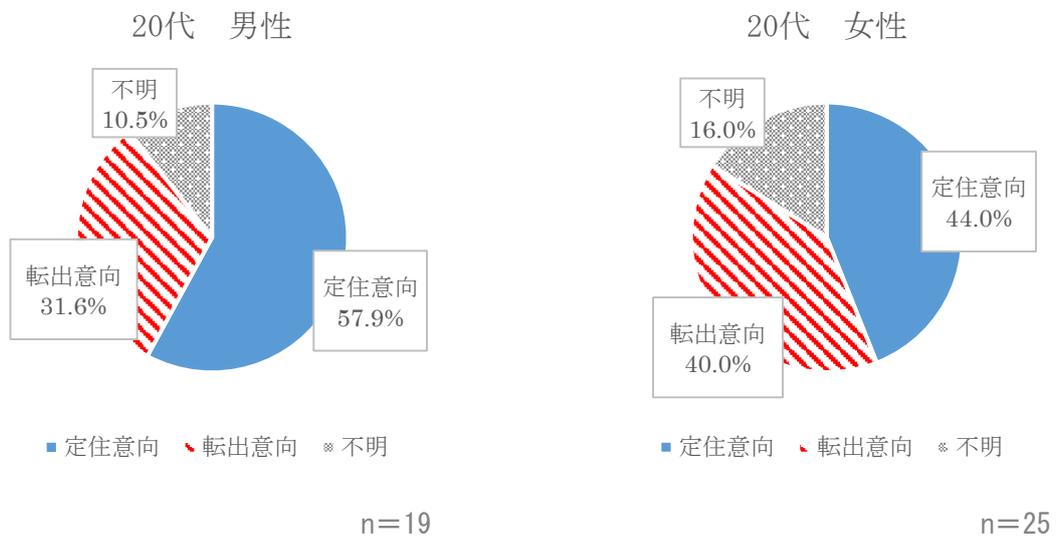
- 男女別に見ると、男女いずれも定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合が7割を超えている。



- 定住意向（「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合算）がある人の割合が最も高い60代を男女別に見ると、男性のほうが、定住意向がある人の割合が高い。



- 転出意向（「できれば他に移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合算）がある人の割合が最も高い20代を男女別に見ると、女性のほうが、転出意向がある人の割合が高い。



- ・ 地域別に見ると、定住意向（「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合算）がある人の割合は、いずれの地域においても5割を超えている。一方、転出希望（「できれば他に移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合算）がある人の割合が、百合が丘、富士見が丘、川勾の3地域において、2割を超えた。

<地域別回答>

回答 地域	ずっと	当分	できれば 他へ	すぐにで も他へ	不明	未回答 不明	合 計
一 色	3	6	-	-	-	-	9
	9(100.0%)		-		-	-	-
緑が丘	8	17	5	-	4	1	35
	25(71.4%)		5(14.3%)		(11.4%)	(2.9%)	-
百合が丘	18	22	11	2	3	-	56
	40(71.4%)		13(23.2%)		(5.4%)		-
中 里	9	19	7	1	6	-	42
	28(66.7%)		8(19.0%)		(14.3%)		-
二 宮	48	34	13	1	9	-	105
	82(78.1%)		14(13.3%)		(8.6%)		-
富士見が丘	16	14	10	1	3	-	44
	30(68.2%)		11(25.0%)		(6.8%)		-
松 根	1	5	1	-	2	-	9
	6(66.7%)		1(11.1%)		(22.2%)		-
山 西	35	39	11	3	8	1	97
	74(76.3%)		14(14.4%)		(8.3%)	(1.0%)	-
川 勾	2	2	2	-	1	-	7
	4(57.1%)		2(28.6%)		(14.3%)		-
未回答 不明	-	1	-	-	-	1	2
合 計	140	159	60	8	36	3	406

※ ()内の数値は、地域ごとの全回答者に占める割合